

きらめ
～煌く海、瞳輝く、実りのまち～

しようどしま



町広報

企画・編集/小豆島町企画財政課
〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4
<http://www.town.shodoshima.lg.jp/> E-mail

2013年4月1日発行
TEL0879-75-1800 FAX0879-75-1500
olive-kikaku@town.shodoshima.lg.jp

No.85

4
月号

ワン・ウエンチー

王文志さんの作品 「小豆島の光」

～地元中山地区やこえび隊の皆さんなど
たくさんの方の協力で完成しました～

- 平成25年度施政方針 …………… P2
- 町長の「八日目の蟬」記 セレクション …… P4
- 新たなまちづくりへ向けて …………… P5
- 4月1日からICカード「オリーブruCa」が… P6
町内の商店等で利用できます
- 平成24年度教育委員会表彰 …………… P8
- 子ども医療費(中学生までの入院費)の …… P13
助成が始まります!
- 保健医療福祉関係職修学資金 …………… P14
平成25年度修学生募集
- まちのわだい …………… P16
- 暮らしの情報 …………… P17
- 暮らしのカレンダー …………… P19
- 小豆島を元気に! 私の提言 …………… P20



平成25年度 施政方針

小豆島の未来のために、 新しい島づくりの更なる前進



平成25年第1回定例町議会が2月27日から3月18日まで開催され、2月27日の定例会冒頭で、塩田町長が町政運営に対する基本姿勢となる平成25年度施政に関する所信を表明しました。

今月号では、施政方針の概要をご紹介します。
なお、施政方針の全文は、別冊保存版として本紙に折り込んでいますので、ぜひ、お読みください。

(瀬戸内国際芸術祭の意味)

3月20日から瀬戸内国際芸術祭2013が開催されます。

今度の芸術祭は、海の復権、小豆島の復権にとって、大きな意義を持つと思います。

小豆島は、古い時代から美しい自然に恵まれ、海の交通の要衝にあったことから、素晴らしい文化、伝統、産業、人々の絆を築き、伝承してきました。

今度の芸術祭は、この小豆島の素晴らしさ、魅力をアーティストとともに、再発見し、磨き、世界に向けて発信する機会です。私たちは、先達から引き継いだ素晴らしいもの、大切なものを守り、磨くとともに、新しい何かを加え、次世代に引き継いでいかねばなりません。芸術祭はその一歩を踏み出す機会です。

(予算案の基本的考え方)

25年度予算案は、私が町長として取り組む3度目の予算案です。25年度予算案は、小豆島が元気になることを目指して編成しました。四つの基本的な考え方に基づいています。

第一に、ここ数年が小豆島を元気にする最後の機会と捉え、健康づくり、子育て・人づくり、産業づくりを中心に積極型の予算案を

編成するとともに、病院経営などの課題に大胆に取り組むことにしています。

第二に、芸術祭の成功に向けて、全力で取り組み、小豆島の大切なものを守り、磨き、発信する新しい物語をつくりたいと考えています。

第三に、将来世代の財政負担に配慮し、基礎的財政収支(プライマリーバランス)は黒字化を堅持し、財政の健全化に留意しつつ、今ある基金を有効活用することとしています。

第四に、日本経済再生に向けた国の経済対策については、平成24年度の補正予算で対応することとしています。

(推進体制)

25年度は、条例の改正は行いませんが、現行の部課を前提として、大きなテーマに役場全体で総力で取り組むため、私を本部長とし、関係部課長などからなる、3つの本部を設置して、本格的に取り組むことにしています。

3つのテーマとは、健康づくり、子育て・人づくり、産業づくりです。
この3つのテーマを強力

(健康づくり)

に推進することで、小豆島を元気にしたいと考えています。

24年度から、オリーブを用いた健康長寿の島づくりを始めています。各地で開かれるオリーブ料理教室は、いろいろな世代の皆さんが参加してくれ、地域が賑やかになるうとしています。幼稚園・保育所でも、小・中学校でも、オリーブ料理の給食が広がっています。小豆島高校の生徒は、オリーブ料理フェスティバルを開催するなど、地域をまきこんだ取り組みをしています。

オリーブを用いた健康長寿の島づくりは、一人ひとりの健康を実現するだけでなく、医療費や介護費を抑制し、小豆島のオリーブブランドを高め、地域の連帯、絆を強めていくでしょう。

25年度は、これらの事業を継続・拡充するとともに、小豆島のこれらのオリーブを活用した、楽しめる、住民参加型の食育プログラムを作ってみようと考えています。小豆島のオリーブの食育を一層アピールし、島民の皆さんの取り組みを



さらに広がるようにしたいと考えています。

(福祉の推進)

地域ぐるみでの福祉を推進するため、これまで福祉のまちづくり事業、協働のまちづくり支援事業などを行ってきましたが、各地でいろいろな取り組みが始まっており、頼もしく思っています。25年度も引き続きこれらの事業を継続実施しますが、これらの事業から、よりニーズにこたえる地域福祉の活動が生まれていくことを願っています。

(医療)

医療のあり方は今後の小豆島のあり方に大きくかわっています。

何よりも、島である私たちにとっては、命を守ってくれる医療がなくてはなりません。幸い、今は二つの公立病院の存在が一定の医療を提供してくれています。しかし、このままでは、この二つの病院の存立は難しくなると考えられます。

ひとつは、医師の確保が難しくなっており、必要な医療を守るためには、病院をひとつに集約して、医師を集中することが不可欠な

ことです。

もうひとつは、人口減少が進む小豆島では、ふたつの病院の経営を維持することが難しく、病院の集約が不可欠なことです。

このような観点から、新しい病院づくりが進められています。新しい病院が、島民にとっても、医療スタッフにとっても、魅力あるものになり、小豆島島民の命と健康を守り、水準の高い医療の存在が、小豆島の魅力を高め、小豆島が元気になるべく起爆剤となるように、新病院づくりに全力を傾注します。

(子育て・人づくり)

幼稚園・保育所、小学校、中学校、高校と一貫した教育を実現し、ふるさとを愛し、たくましいこどもたちを育てたいと思っています。私は、ふるさとを愛し、人としての基礎を作る小学校は、地域密着であることが必要であると考えています。その意味で、今ある小学校は守るべきものと考えています。

一方、中学校は、勉強にも、スポーツにも、切磋琢磨できる場であることが必要であると考えています。

そうした観点から池田中学校と内海中学校を統合し、新しい中学校を26年度からスタートさせたいと考えています。

25年度は、子育て・人づくりで次のような新規施策を行うことにしています。

まず新しい次世代支援の計画、すくすく子育て応援アクションプランを策定します。体育専門の指導主事をおき、幼保・小・中学校での体力強化に取り組みます。

新病院の院内保育所開設に向けた保育士などの確保、養成を行います。医師、臨床心理士などの専門職による5歳児検診を行い、発達障害等の早期発見につとめます。

(産業づくり)

オリーブは小豆島の宝です。オリーブは、平和の象徴であり、健康にもよいことが世界に知られています。オリーブの銀色のはっぱや小さな白い花、香りも小豆島にぴったりでです。

これからも小豆島オリーブトップワン・プロジェクトを着実に実行していきましょうと考えています。基本は、オリーブの栽培を丁寧に行うことです。そのためには、

気候変動に強い品種の改良、栽培技術を向上させ普及すること、品質のよいオリーブを生産販売することです。

小豆島はオリーブの生産量では外国にかないませんが、品質の高さやオリーブの多様な利用では世界一になれると思います。レベルの高い国際規格づくりなどにも積極的に参加していくと考えています。

醤油、佃煮、そうめんなどの小豆島の食品産業は長い歴史を持ち、小豆島の生活、文化、伝統を支え続けてきました。

地味ですが、食品産業はこれからも小豆島を支えてくれると思います。食品産業に携わる皆さんの自助努力や創意工夫によるところが、今後の発展の要であることは間違いありませんが、行政が側面からサポートできることもたくさんあります。

地域振興アドバイザーの活動やかがわ産業支援財団、香川大学、香川短期大学などと連携した研究会、講演会の開催、国内展示会への出展や知的財産活用などに対する助成など、さまざまな活動を行っています。

(魅力づくり)

小豆島を元気にする、いろいろな新しい試みが始まっています。そのひとつに、小豆島をはじめ瀬戸内海の島々の石切り丁場から巨大な石がどのように切り出され、海を渡り、大坂城の石垣として築かれたのか、その石の技術と文化を、世界遺産としての登録に向けた試みがあります。決して容易なことではありませんが、瀬戸内海文化圏を世界にアピールする試みです。

瀬戸内国際芸術祭は、海の復権や島々に住む人々の笑顔を取り戻すことを目指すものです。小豆島が、瀬戸内海の島々をひっぱりつて、海の復権や島々に住む人々の笑顔を実現したいと思います。



町長の

「八日目の蟬」記

セレクション

『木下恵介生誕百年記念 「城山桜公園」記念植樹・記念碑除幕式典』

昨年12月5日は、木下恵介生誕百年に当たる日でした。これを記念して、木下恵介監督の功績を多くの皆さんに知ってもらい、再評価すべきとの考えから、松竹と木下監督の生誕地浜松市そして小豆島町が共同して「ひとつ木の下プロジェクト」をこの1年間進めています。

その一環として、今日、映画「二十四の瞳」で大石先生と12人の子どもたちが電車ごっこをした城山桜公園で、浜松市からいただいた館山寺桜の植樹とロケ地の記念碑を建立しました。
浜松市からは鈴木市長が、松竹からは大角映像副本部長らが、子役をされた皆さんがつくる桜の会からも3人が遠くから記念式典のためにわざわざ参加してくれました。

ところが、式典の時刻になって、晴れていた空がにわかには真つ暗になって激しい雨が降り始めました。

しかし、鈴木市長に後の予定があるので、やむを得ず、そばにあった展望台で式典を始めることにしました。きつと、この雨は、59年ぶりにロケ現場の小豆島に館山寺桜として戻ってきた木下恵介監督の感激の涙に違いありません。

今年、原作者の壺井栄さんも、生誕地の坂手に戻ってきました。地元の花島の熱意で、生誕地がお花島になり、その真ん中に壺井栄さんの年齢とほぼ同じ樹齢のオリーブの木が移植されました。

期せずして、小豆島の大人である、壺井栄さん、木下恵介監督、高峰秀子さんの三人が、今年小豆島に



記念植樹の様子

戻ってこられたような気がします。

このことは偶然ではなく、時代が、この三人が描き、静かに訴えた平和の大切さ、人と人の信頼の大切さなどを、もう一度、小豆島から訴えていくことを求めているのだという気がします。

小豆島は、「二十四の瞳」という宝物を大切にし、日本と世界の平和を守り続けることの大切さを、世界に向けて訴えていくという使命を果たしていくかねばならないと思います。

(3月10日掲載分から)

町長の「八日目の蟬」記は町ホームページに全文が掲載されています。

「島の食品のあれこれ」

Vol.27

「瀬戸内国際芸術祭2013」に期待します」

小豆島調理食品工業協同組合

宝食品(株) 代表取締役社長 片山俊朗

いよいよ「瀬戸内国際芸術祭2013」が始まりました。当社は坂手港から近く、目の前が展示会場となっており、また馬木への通り道でもありますので、多くのお客様が来られると期待しています。

当社の前では、春・夏・秋とジャンルの違う芸術家が作品を制作・展示され、馬木では、旧醤油組合においては地元の方が作った作品以外にも、さまざまな展示が予定されています。

また、醬の郷だけでなく、中山から三都半島にかけても多くの作品を鑑賞することができます。

ただ、車で来られる方のために必要な駐車場については、当社においても、長時間ご利用いただくことは難しく、また、町内での十分な整備はされていないと見受けられます。少しでもそこを補い、来

島された方をできるだけ温かく、丁寧にお迎えすることによって小豆島のイメージアップを図り、島産の製品利用者の増加をめざしたいと思いますが、そのためには、産業会のみならず島内の方全員のご協力が必要となります。

芸術祭を盛り上げるとともに、小豆島の産業の発展、ひいては小豆島の発展のために島民の皆さんのご協力をお願い申し上げます。



春・夏・秋とジャンルの違う芸術家が作品を制作・展示する当社前

小豆島産業振興・環境技術会議

新たな

まちづくりへ向けて

本町では、町の大きなテーマである健康づくり、子育て、人づくり、産業づくりに役場全体で総力で取り組むため3つの本部を設置しました。

今月号から、3回にわたって各本部についてご紹介します。第1回は健康づくり本部です。

「第1回「健康づくり本部」

統括（健康福祉部）部長 松尾 俊 男

我が国の平均寿命は、男性が80歳、女性が86歳で世界一の長寿国となっていています。一方、最近「健康寿命」という言葉を耳にしますが、日常生活に支障をきたすことなく生活できる年齢を意味します。昨年、厚生労働省が公表した健康寿命は、男性70歳、女性74歳となっていてます。平均寿命と健康寿命との差は、それぞれ10年、12年になり、この差が病気などでの入院や介護を要する期間ということになります。

また、「健康」は、単に元気であるだけでなく、生き甲斐や目的を持つことで、充実した日々が送れることを意味します。

本町では、急速に人口の減少と少子高齢化が進んでいます。中でも高齢化は、実態として医療や福祉への依存度を高めます。年齢を重ねても元気であることは、ご本人の幸せだけでなく、ご家族や若者にとつての負担の軽減に繋がります。

町では、子どもからお年寄りまで住民すべての方の健康づくりに取り組んでいますが、その主役は、地域の皆さん方ご自身です。健康に気を配り、仮に手助けが必要になっても、周りで支え合うことで、住み慣れた地域や自宅での生活を続けることができます。

このような地域での助け



合いは「共助」と呼ばれていますが、健康づくり本部では、各種健康づくりをはじめ、地域での「共助」の拡大や、その効果が十分発揮されるよう、総力を挙げて各種施策に取り組むことにしています。

皆さんお一人おひとりの健康づくりと、「共助」への積極的な参加に、ご理解とご協力をお願いします。

健康づくり本部

【目的】

人口減少、少子高齢化社会の課題を克服するため、医療や福祉の分野で、地域の力により解決できる方策を検討・実施する。

【具体的項目】

- 健康づくり
- 介護予防
- 食育
- 医療費の適正化
- 病院経営（内海病院経営改革チームの設置）

オリーブで健康・長寿の島づくり

『食べる力で介護予防 ～サロン活動でもオリーブオイルは大人気～』

高齢者福祉課

主任保健師 佐伯 美 恵

子どものころ、風邪をひくと言われた一言「食べな治らんで」。体調を崩した時に食べると言われて苦労した覚えがあります。保健師になり、健康づくりの3本柱は「栄養」「運動」「休養」と学び理にかなった一言だったと思います。

皆さんご存じの「オリーブオイル」は、オリーブ果実のジュースで、オレイン酸やベータカロチン、ポリフェノールなどの成分が豊富で動脈硬化に対する予防効果など、高い健康増進効果が期待されます。

小豆島町では、各地域の集会所などを利用し高齢者の方々が中心になり「サロン活動」が行われています。そこでは、参加者とボランティアが共に調理し会食をされていることがありますが、油料理は苦手という方も、オリーブオイルを用いた料理は風味豊かで胃に

もたれないと好評です。「食べる」という行為は一生の楽しみであり元気の素。高齢になると、食生活に偏りを生じ低栄養となり介護が必要になる場合もあります。

高齢者福祉課では、小豆島町が誇るオリーブが高齢者の皆さんに身近な栄養として浸透するよう、サロン活動や介護予防教室などでオリーブ栄養講座を実施していますので、皆さんぜひ参加ください。



サロン活動でオリーブ料理を楽しむ皆さん

『オリーブ IruCa』でまちに賑わいを...

～4月1日からICカード『オリーブ IruCa』が
町内の商店等で利用できます～



『オリーブ IruCa』で地域の活性化を

小豆島町では、公共交通の活性化を図るため、土庄町、県、国とともに「小豆島地域公共交通協議会」を設立し、路線バスの利用促進と利便性向上を推進しています。

この協議会では、ICカードの普及のため、平成22年度に小豆島オリーブバスでの利用をはじめ、翌23年度に高松～小豆島間の航路への導入、そして、平成

25年3月に町内の商店や観光施設などに電子端末機を設置し、4月1日からの利用ができるようになりました(加盟店は左記参照)。

『オリーブ IruCa』が島内に普及することで、陸路と航路の連携による公共交通の利用促進をはじめ、商店などでも利用ができる小豆島の「地域通貨」として活用し、まちの活性化に繋がることが期待されます。

IruCaカード 電子マネーサービス加盟店

(順不同)

ヤマサン醤油株式会社
丸島醤油株式会社
小豆島総合開発株式会社
財団法人 岬の分教場
財団法人 小豆島ふるさと村
ベビー子供服 まし
内海薬品株式会社



『オリーブ IruCa』を 利用ください...

『オリーブ IruCa』は、小豆島オリーブバス事務所およびオリーブバス車内にて、1枚2,000円で販売しています。カードは、チャージ(入金)が必要になります。オリーブバス車内や高松航路の各港にあるチャージ機で、入金することが出来ます。オリーブ IruCa を使って、オリーブバスに乗車しますと通常運賃の13%が割引になります。



小豆島限定デザイン『オリーブ IruCa』

路線バス、航路、商店、観光施設など、島内で幅広く利用ができる『オリーブ

路線バス利用促進活動支援制度

地域住民の「足」である路線バスの効果的な利用促進活動に取り組む団体に対して、補助金を交付します。

<対象事業>

- ① 地元商店とタイアップした企画切符の発行、イベント活用、通勤時等路線バスの利用促進
- ② 交通結節点の施設提供(駐車場、駐輪場)など

<補助金額>

- ① 対象経費の1/2(10万円限度)
- ② 1か所、1台分につき年間2万円



問い合わせ先

企画財政課 ☎75-1800
小豆島オリーブバス
☎62-11071

IruCa を皆さん、ぜひご利用ください。

瀬戸内国際芸術祭2013

アートと島を巡る瀬戸内海の四季

今月号から、町内各地で行われている瀬戸内国際芸術祭2013の取り組みの一部をご紹介します。

老舗喫茶店「白鳥」の復活

2年前に閉店した坂手地区の老舗喫茶店「白鳥」が、地元坂手地区の皆さんと香川大学経済学部の方々によって復活し、3月9日に営業を再開しました。

香川大学の学生の皆さんは、坂手地区の小豆島S.A.K.A.T.Eプロジェクトに取り組み古川尚幸教授のゼミ生で、昨年からは、地元婦人会の皆さんとお店で提供するメニューを考案したり、店内を掃除するなどの活動



復活した喫茶店「白鳥」

を行ってきました。「白鳥」は、瀬戸内国際芸術祭の期間中、土・日・祝日の11時～16時の時間帯で営業しています。

三都半島のおもてなし

フラッグファミリー

フラッグファミリーとは、瀬戸内国際芸術祭の期間中、家の前にフラッグ(旗)を出しているご家庭の皆さんが、道案内・飲み水の提

供・トイレの使用・休憩・会話など、三都半島を訪れ困っている方々に心温まるサービスの提供を行う取り組みです。



このフラッグが目印です

この取り組みは、三都半島活性化協議会の皆さんが中心になって行われており、住民の皆さんご自身が、できる時に無理なくおもてなしを行い、三都半島を訪れた方々に楽しい思い出を作ってもらおうと行われています。

芸術祭会場にエコ箱を設置しました

小豆島町では、町内の瀬戸内国際芸術祭会場内に、環境美化と来島者のエコ意識の向上を目的としてエコ箱を設置しています。

このエコ箱とは、町内の小学生より募集したゴミ減量化啓発標語の中から選ばれた特選1点および入選5点の作品を掲示した資源ゴミ回収箱であり、デザインは小豆島町地域おこし協力隊の柚木恵介さん(東京芸大助教)です。

また、3月12日には芸術祭会場である旧山吉醤油母屋において、特選および入

選の受賞者が出席したゴミ減量化啓発標語の表彰式が行われ、併せてエコ箱も披露されました。会場に可愛いデザインのエコ箱が設置されていますので、皆さんも訪れた際にはゴミの分別にご協力ください。



設置された「エコ箱」

壺井栄生誕地お花畑プロジェクト、壺井栄さんの生誕地にオリーブを移植

2月28日、坂手地区の壺井栄さんの生誕地に、若手造園作家西島清順さんと地元の方々の協力で、栄



移植の様子

さんと同時代に生まれたオリーブが移植されました。小豆島の地に豊かな恵みをもたらすオリーブは、平和と繁栄の象徴であり、栄さんが生まれ変わって戻ってきたのです。このオリーブが根を張り、大きく成長するとともに栄さんの願いと小豆島の平和が次の世代にも引き継がれるよう願いが込められています。

平成24年度

教育委員会表彰

2月26日、町立図書館研修室において、平成24年度小豆島町教育委員会表彰が行われました。

教育委員会表彰は、教育分野に貢献またはこの1年間に優秀な成績を挙げた団体・個人を表彰するもので、今年度は6団体と19名の方に表彰状が贈られました。

団体の部（順不同・敬称略）

苗羽小学校音楽部

▽MBSこども音楽コンクール音源選考会（地区大会）「優秀賞」

▽こども音楽コンクール西日本優秀校発表音楽会「最優秀賞」

小豆島町立池田小学校

▽全日本小学校ホームペー
ジ大賞「香川県最優秀校」

小豆島高校野球部

▽春季四国地区高等学校野球香川県大会「優勝」

小豆島高校弓道部（女子）

▽香川県新人大会 弓道競技 女子団体の部「優勝」

小豆島高校陸上部（女子）

▽全国高等学校駅伝競走大会香川県予選「優勝」

▽手づくり紙芝居を作ろう会

▽手づくりの紙芝居を作成し幼児教育の進展に寄与した。

▽全国高等学校総合体育大会陸上競技 1年女子 1500m「第1位」

個人の部

濱元 嵐士（安田小4年）

▽香川県春季少年相撲大会個人戦3・4年生の部「優勝」

川西 アモル（池田小1年）

▽全国小・中学校作文コンクール 下学年の部「読売新聞社賞」

向井 悠介（内海中1年）

▽香川県中学校総合体育大会 陸上競技 1年男子 1500m「第1位」

▽香川県中学校新人陸上競技大会 1年男子 1500m「第1位」

技大会 1年男子1500m「第1位（大会新）」

中村 海季（内海中1年）

▽四国中学校総合体育大会 陸上競技 1年女子 1500m「第1位」

岡田 紗宝（池田中1年）

▽香川県中学校総合体育大会 陸上競技 1年女子 1500m「第1位」

三木 菜摘（池田中3年）

▽香川県中学校総合体育大会 陸上競技 3年女子 1500m「第1位」

栗原 卓司（小豆島高校3年）

▽香川県高等学校総合体育大会 陸上競技 砲丸投げ「第1位」

井口 裕登（小豆島高校2年）

▽香川県高等学校新人大会 陸上競技 5000m「第1位」

港 菜月（小豆島高校3年）

▽国民体育大会香川県予選少年A 3000m「第1位」

田中 遥（小豆島高校3年）

▽香川県高等学校総合体育大会 陸上競技 1000m「第1位」

岡 桃香（小豆島高校3年）

▽香川県高等学校総合体育大会 陸上競技 2000m「第1位」

港 里奈（小豆島高校2年）

▽香川県高等学校新人大会 陸上競技 3000m「第1位」

岡田 真奈（小豆島高校3年）

▽香川県高等学校総合体育大会 柔道競技78kg級「第1位」

樋口 葵（小豆島高校2年）

▽全国高等学校弓道選抜大会 香川県予選 個人「第1位」

根本 明佳（小豆島高校2年）

▽青少年読書感想文全国コンクール 県審査 自由読書の部「最優秀」

三木 源次（西村）

▽公民館活動に尽力し、町の社会教育の進展に寄与した。

後藤 亀義（西村）

▽公民館活動に尽力し、町の社会教育の進展に寄与した。

大空 幸二（安田）

▽公民館活動に尽力し、町の社会教育の進展に寄与した。

巨 和彦（中山）

▽ホテルの放流活動を通じて、町の学校教育の進展に寄与した。



広報文芸

歌壇 小豆島

二月例会 詠草

鈴生りの裸電球日を弾き鳥賊釣り船も今日はお休み
木の元に水仙いささ咲きそめて未だその俤一週間経つ
野焼き終へ焦げたる畑地に太東の青竹を積むトラックの見ゆ
底冷えの夜はボイラーもフル稼働さざ波立てりビニールハウスの立住喜代子
電線を離れてしばし今の我を楽しましめて雀去りゆく
雪やみて外より帰り来し妻が島の夜空の星の数言ふ

伝宝千鶴子 堀内 実男
山元 露子 八木 慶子
立住喜代子 森 フサ子
やぎあきら

笹百合句会

目の合ひし遍路には「ようお詣り」と
木下りよう
ひもすがら卯浪まかせの釣の舟 黒木 寿子
方寸の畑にそよぎて豆の花 照木 幸
ミモザの黄揚げばありぬ昼の月 久保 愛子

島裏の寺の桜はまだ蕾
海眺め花を眺めのお辨当 左海 広子
紅さして女ばかりの遍路衆 武部 菅子
老遍路鉢巻よしと札所発つ 波田 好博

子どもダンス教室

参加者募集

楽しい音楽にあわせてダンスを踊ってみませんか。
ストレッチや基本の練習もするので初心者の方も大歓迎です。



日時 4月14日(日)・21日(日)・28日(日)の3回
10時～11時30分
場所 池田小学校体育館
対象 小・中学生
参加費 無料
持ち物 運動のできる服装・体育館シューズ・タオル・お茶
※参加希望の方は、電話にて左記までお申し込みください。
申し込み先 寺田 (☎75-1993)・亘 (☎75-2966)
主催 小豆島町ストリートダンス協会

ほん大好き

小豆島町立図書館
☎82-0291

新刊紹介

(幼児向き)
ふかいあな
ぼく、まってるから
かげ
パンパカパンツあいうえおパンツ

(児童向き)
忍たま乱太郎 56
ルルとララのこにこクリーム
パンブキン・ロード
体育館の日曜日

(ティーンズ向き)
現代語で読む生まれ出づる悩み
おりキ様の代替わり

新刊紹介 (一般向き)

| 書名 | 著者名 |
|--------------------------------|-------------|
| 沈黙の町で | 朗 田 英 朗 |
| 神隠し | 大 野 慶 尚 |
| 夢を売る男 | 樹 田 山 上 淳 |
| 猫弁と指輪物語 | 子 延 子 郎 |
| ピプリア古書堂の事件手帖 4 | あ つ こ |
| 正義のセ 1 | 佐 和 子 |
| 一 路 上・下 | 浅 川 田 次 |
| 闇医者おゑん秘録帖 | あ さ の |
| 双頭の船 | 池 澤 夏 衣 |
| マタニティ・グレイ | 石 川 上 場 弘 |
| なめらかで熱くて甘苦しくて | 執 着 平 宮 岩 部 |
| 蘭陵王の恋 | 村 上 方 尾 山 |
| 桜ほうさら | 北 西 丸 主 婦 |
| パン屋を襲う | 藤 田 友 智 |
| 岳 飛 伝 4 | 村 上 方 尾 山 |
| 悲 痛 伝 | 北 西 丸 主 婦 |
| 純と愛下 | 藤 田 友 智 |
| 1000万円建てたMY HAPPY HOME | 藤 田 友 智 |
| 藤田智の成功するコンテナ菜園 | 藤 田 友 智 |
| 食材別選べる保存+おいしい節約レシピ | 藤 田 友 智 |
| いつも買うもやし・卵・とうふがおいしいおかず | 藤 田 友 智 |
| ワンちゃんネコちゃんペットと泊まる宿 全国版 '13~'14 | 藤 田 友 智 |
| るるぶ日帰りおでかけ関西 '13~'14 | 藤 田 友 智 |
| まっふる 香川 '14 | 藤 田 友 智 |

4月の行事予定

| 行 事 名 | 日 時 | 対 象 |
|----------|--------------------|-------|
| 論語を読む会 | 6日(土) 10:00～12:00 | 一 般 |
| 古文書講座 | 13日(土) 10:00～12:00 | 一 般 |
| おはなしひとみ会 | 14日(日) 14:00～14:30 | 幼・児 童 |
| 更級日記を読む会 | 20日(土) 14:00～16:00 | 一 般 |
| こにこおはなし会 | 21日(日) 14:00～14:30 | 幼・児 童 |
| 読書会 | 21日(日) 14:00～16:00 | 一 般 |

(内容:「置かれた場所で咲きなさい」 渡辺 和子 著)

今月のロビー展

「運動&食事で健康づくり」図書展
4月25日(木)まで展示・貸出しますので、ぜひご利用ください。

○「こどもの読書週間」が始まります。(4月23日～5月12日)
4月23日は「子ども読書の日」です。町立図書館では、展示・イベントを用意していますので、ぜひお越しください。

- ・優良児童図書展 4/23(火)～5/30(木) 町立図書館にて
- ・人気図書ベスト20展 4/23(火)～5/30(木) 町立図書館にて
- ・バルーンと折り紙の動物園 4/28(日) 15:00～16:00 町立図書館にて



救急車の適正利用についてのお願

救急車の出動件数・搬送人員数は、年々増えていきます。

救急出動件数が多くなれば、必然的に遠くの救急隊が現場する確率が高まるため、現場への到着時間が遅れてしまい、救える命が救えなくなる恐れがあります。限りある救急車が、本当に必要な人のために出動できるよう、正しい利用について今一度考えてみてください。

◇このような救急車の利用はやめましょう

- ・救急車で病院に行くとき早く診てもらえるから
- ・定期的な通院
- ・タクシーなどの交通機関の代わり
- ・夜間、休日等の病院がわからなかった
- ・けがはしてないけど交通事故だから
- ・明らかに緊急性が低い

◇傷病者の様子や事故の状況などから、急いで病院へ連れて行ったほうが良いと

思ったときには、迷わず119番通報をしてください。

◇迷ったときは、電話相談窓口（実施時間：19時～翌朝8時）をご利用ください。
 ・「一般向け救急電話相談」
 ☎087181211055

・「小児救急電話相談」
 ☎087182311588
 または短縮#8000

◇緊急性がなく自分で病院へ行ける場合や病院までの交通手段がない場合には、救急車以外の交通機関（家用車・タクシー・介護タクシー等）のご利用をお考えください。

救急車を本当に必要とする人のためにみなさんご理解とご協力をお願いします。



新しい中学校へ

2月28日小豆島町議会において、新しい中学校の校名について審議され、「小豆島町立小豆島中学校」に決定しました。

新しい中学校は平成26年4月1日に設置し、校舎は現在の内海中学校を使用します。

今後、校訓、校歌、校章、池田地区からの通学方法等について協議していきます。

問い合わせ先

学校教育課
 ☎8217014

池田公民館子ども文庫閉館のお知らせ

池田公民館こども文庫は、4月7日(日)17時30分をもちまして閉館します。長い間、ご利用ありがとうございました。

なお、図書の貸出につきましては、7月下旬から、イマージュセンターで開始します。それまでの間、利用者の皆さんには大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

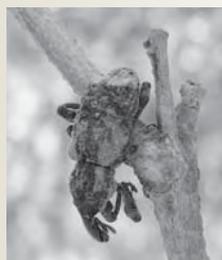
オリーブ栽培ごよみ

オリーブ栽培者の皆さんへ

① 4月はオリーブアナキゾウムシの越冬成虫が産卵を開始する時期です。

オリーブアナキゾウムシの防除は必ず行いましょう。薬剤防除の方法は、4月中旬～下旬にスミチオン乳剤の50倍液を、産卵が集中する株元の樹幹部に、葉にかからないように注意して散布します。また、薬剤散布だけでなく、成虫や幼虫を見つけたら捕殺に努めましょう。

② 梢枯病の多い圃場では、



オリーブアナキゾウムシ(香川県農業試験場小豆オリーブ研究所 所蔵)

病気の枝を除去したのち、トップジンM水和剤1,000倍を樹全体に散布しましょう。

③ 今年植え付けた株は、十分にかん水をしましょう。活着して萌芽が始まれば追肥をしましょう。水鉢を除き、株元に水が溜まらないようにしましょう。

小豆地区少年育成センターからのお知らせ

皆さん、「白ポスト」を知っていますか。郵便ポスト(旧型)のような形をしている白いポストです。

少年育成センターでは、島の青少年を有害環境から守るために、島内7か所に設置しています。

小豆島町では、池田港、イマージュセンター、草壁港、坂手港、福田港の5か所。土庄町では、土庄港、大部港の2か所です。

子どもたちに見せてはいけない有害な図書、DVD、ビデオテープなどをポストに投函してください。

島の子どものたちの健やかな成長を願って、ぜひ実践してください。

狂犬病予防注射日程

狂犬病予防注射の

お知らせとお願い



小豆島町が実施する平成25年度狂犬病予防注射の日程は次のとおりですので、犬を飼っている方は忘れずに注射を受けさせてください。

必ず行いましょう

① 狂犬病予防法により、飼い犬は登録と予防注射が義務付けられています。登録は犬の生涯に1回ですが、狂犬病予防注射は毎年1回受けなければなら

② 犬の登録内容に変更があった場合（犬の死亡や飼い主の転居など）は、必ず

③ 犬は繫いで飼いましょう、放し飼いの犬は野犬と見

④ 犬は繫いで飼いましょう、放し飼いの犬は野犬と見

りません。生後90日を経過している子犬には、必ず登録と予防注射を受けさせてください。

⑤ 犬のフンは飼い主が始末し、みんなの町をきれいにしましょう。

⑥ 町中を徘徊する野犬が増加しています。飼い犬が不用になったからと捨てるようなことはせず、責任を持って最後まで飼いまし

ず役場の窓口へ届け出てください。

なされます。万が一、飼い犬が人をかんだ場合は小豆保健所へ届け出てくださ

4月4日(木)

| 場所 | 時間 |
|--------|-------------|
| 竹生町営住宅 | 9:00~ 9:20 |
| 西村公民館 | 9:30~10:00 |
| 草壁公民館 | 10:10~10:50 |
| 草壁会館 | 11:00~11:10 |

4月12日(金)

| 場所 | 時間 |
|-------|-------------|
| 苗羽公民館 | 9:00~ 9:50 |
| 坂手公民館 | 10:00~10:20 |
| 古江庵 | 10:30~10:40 |
| 堀越バス停 | 10:50~10:55 |
| 田浦バス停 | 11:05~11:10 |

4月7日(日)

| 場所 | 時間 |
|----------|-------------|
| 安田馬場 | 9:00~11:00 |
| イマーヂセンター | 12:00~13:30 |

4月17日(水)

| 場所 | 時間 |
|------------|-------------|
| 石場バス停 | 9:00~ 9:05 |
| 牛ヶ浦バス停 | 9:10~ 9:15 |
| 小池バス停 | 9:20~ 9:25 |
| 長崎バス停 | 9:30~ 9:35 |
| 三都郵便局 | 9:40~ 9:55 |
| 南蒲野公民館 | 10:00~10:10 |
| 神浦バス停 | 10:20~10:30 |
| 吉野地区集落センター | 10:45~10:50 |
| 二生公民館 | 11:00~11:10 |
| J A池田二生出張所 | 11:20~11:30 |

4月8日(月)

| 場所 | 時間 |
|--------|-------------|
| 安田馬場 | 9:00~ 9:50 |
| 橘会館 | 10:10~10:20 |
| 岩谷バス停 | 10:35~10:40 |
| 当浜町営住宅 | 10:50~10:55 |
| 福田公民館 | 11:05~11:25 |

4月10日(水)

| 場所 | 時間 |
|----------|-------------|
| 赤坂バス停 | 9:00~ 9:10 |
| J A中山出張所 | 9:25~ 9:35 |
| イマーヂセンター | 9:50~10:30 |
| 浜条馬場 | 10:40~10:50 |
| J A蒲生出張所 | 11:00~11:10 |
| 入部菱屋電気前 | 11:20~11:30 |

4月21日(日)

| 場所 | 時間 |
|----------|-------------|
| 安田馬場 | 9:00~10:30 |
| イマーヂセンター | 11:00~12:00 |



問診票に記入を

飼い主の皆さんには3月下旬に飼い犬の登録内容や注射日程等を印刷した案内ががきを郵送しています。圧着しているのがきの内側には問診票が印刷されていますので、矢印の部分から開封して事前に飼い犬の状態を記入し、必ず会場に持参してください。

なお、5つの問診項目のうち1つでも「いいえ」があれば、予防注射を受けられない場合がありますので、ご注意ください。

問い合わせ先

環境衛生課
池田窓口センター
☎ 82-7008
☎ 75-0557

| 料金別納郵便 | | 【 狂犬病予防注射問診票 】 | |
|--|---------|---------------------------------|----------|
| 登録No. | 性別 | 1. 元気、食欲がある。 | (はい/いいえ) |
| 犬の名 | 毛色 | 2. 現在、体調に問題がない。 | (はい/いいえ) |
| 生年月日 | 種類 | 3. 予防注射を受けて異常がでたことがない。 | (はい/いいえ) |
| <small>黒色注射会場へはこのほか必ず持参して下さい 空欄または印刷については、赤字で訂正して下さい 料金は郵送のみなうにご準備下さい 離乳と予防注射成金の交付を必ず受けましょう</small> | | 4. 現在、通院していない。 | (はい/いいえ) |
| 狂犬病予防注射 負担金 | 2,850 円 | 5. 妊娠していない。 | (はい/いいえ) |
| 小豆島町役場 環境衛生課 〒761-4492 小豆郡小豆島町安田甲144-90 TEL 0879-02-7008 ◎必ずお読み下さい 内側には注射日程と問診票があります。 開封してご記入の上ご持参ください。 ご案内は内側にあります。開封してご覧ください。 | | 予防注射の際、この票に記入して、必ず注射会場へご持参ください。 | |

民間住宅耐震対策支援事業のお知らせ

小豆島町内の住宅に対する耐震対策として、耐震診断、耐震改修工事に要した費用の一部を補助します。

補助を受けられる方

- ① 小豆島町内において自ら居住している住宅の所有者
- ② 町税などを滞納していない方

対象となる住宅の要件

- ① 昭和56年5月31日以前に建てられた一戸建てまたは長屋建て住宅、住宅用部分が2分の1以上の併用住宅（共同住宅、賃貸住宅、社宅、別荘などは対象外）
- ② 建築基準法の規定に基づく違反がないこと
- ③ 耐震診断や耐震改修工事を行った後、主たる居住の場として、引き続き利用すること
- ④ 耐震改修工事にあたっては、耐震診断により、倒壊する危険性があると考えられたもの
- ⑤ 民間住宅耐震対策支援事業交付要綱に基づく耐震対策を過去に行っていないこと

補助の内容

- ① 耐震診断に要した費用の10分の9の額（ただし、9万円を限度とする）
- ② 耐震改修工事に要した費用の2分の1の額（ただし、90万円を限度とする）

注意事項

- ① 所定の講習を受けた建築士が耐震診断をする必要があります。
- ② 交付決定前に工事契約を行った場合は、補助を受けることができません。
- ③ 県内に営業所を有する事業者が施行する場合に限ります。

申請受付期間

4月1日(月)～

申請受付窓口

建設課

詳しくは小豆島町ホームページ (<http://www.town.shodoshima.lg.jp>) または建設課管理係 (☎82-7009) までお問い合わせください。

太陽光発電設備設置

補助金のお知らせ

小豆島町では、平成25年4月以降に住宅用太陽光発電設備を設置する方に対して補助金を交付します。

支給の対象となるのは町内の既設住宅に太陽光発電設備を設置しようとする方（法人は除く）、または町内で太陽光発電設備付建売住宅を購入しようとする方です。該当する方は補助金予約申請を行ってください。

補助金の額は、設置する太陽電池の最大出力値に4万円を乗じた額とし、上限4キロワット（16万円）まで補助します。

ただし、補助の条件として、国（J-PECC）が実施する住宅用太陽光発電導入支援対策事業補助金の支給が決定した方に限定します。ご注意ください。

詳しい事業内容および手続き方法については、環境衛生課・太陽光発電補助金担当（☎82-7008）までお問い合わせください。

人権・同和教育シリーズ

「小豆島町人権同和教育意識調査」結果のお知らせ(第3回)

2011年7月に実施した意識調査の第3回目の結果報告です。今回は、同和教育に関する意識の調査結果を紹介いたします。

カッコ内は香川県調査「平成21年度県政世論調査」(3択・上位5位)

どのような部落差別が起きていると思うか

- ① 結婚のとき周囲が反対する 81.1% (64.4%)
- ② 就職・職場で差別・不利な扱いをする 47.9% (21.2%)
- ③ 差別的な言葉やしぐさをする 44.2% (41.8%)
- ④ 身元調査を実施する 35.2% (39.3%)
- ⑤ 地域の活動や付き合いで差別や不利な扱いがある 27.0% (19.7%)

県調査と比較すると「結婚」「就職・職場」「地域の活動や付き合い」が高い。県調査によると、結婚の変化として、20～30歳代では8割前後が地区外の方と結婚している。若い世代は、学校での人権・同和教育によ

り、部落差別を解消する力が養われていると推測できる。

同和教育を解決するために効果的な取り組み

- ① 同和教育だけでなくさまざまな人権問題に町民が理解を深める 56.3% (60.0%)
- ② 家族で誰に対しても差別をしないように子どもに教える 53.1% (40.8%)
- ③ 学校で若い世代に差別をなくすことをしっかりと教える 40.2%
- ④ えせ同和行為（差別を悪用した不当な要求行為）を排除する 22.6% (29.9%)
- ⑤ そつとしておけば差別はなくなる 17.1% (17.3%)

今後は同和教育を中心に幅広い人権学習の機会を提供する必要がある。家庭で人権問題を話し合えるように、家庭向けの啓発資料を配布するなど、家庭教育への支援が必要である。

問い合わせ先 人権対策課 ☎82-7011

子ども医療費(中学生までの入院費)の

助成が始まります!



4月から、子ども医療費として中学生までの入院費のうち保険が適用され診療にかかる自己負担額を平成25年4月診療分から助成します。医療機関へ自己負担額を支払い後、医療費の支給申請をしてください。

Q. 今までの乳幼児医療はどうなるの?

A. 制度の名称が「乳幼児医療費」へ変更になります

Q. 助成対象はどんな子ども?

- A. 次の要件をすべて満たす子どもが対象です。
- ① 小学1年生～中学3年生
 - ② 住民票が小豆島町にある
 - ③ 健康保険などに加入している

Q. 申請をするにはどうするの?

A. 医療機関へ入院費を支払い後、子ども医療費支給申請書に医療機関で証明をもらうか、領収書など次の書類を、健康づくり福祉課または池田窓口

Q. 助成対象外の費用は?

A. 保険適用外の医療費、

センターに持参してください。

【必要な書類】

- ① 入院費を支払ったことがわかる領収証
 - ② 医療費支給申請書(申請書は、健康づくり福祉課、池田窓口センターにあります。)
 - ③ 対象となる子どもの健康保険証
 - ④ 印鑑
 - ⑤ 医療費を振り込む通帳
- 問い合わせ先 健康づくり福祉課 ☎8217038

温浴健康教室のご案内

場所 サン・オーブ
時間割 13:30～14:30 健康教室(健康体操)
14:30～15:30 温浴(入浴)
参加費 無料(ただし、飲食などは自己負担)

| 日程 | 送迎地区 |
|-------|----------------------------|
| 4月11日 | 室生・二面・吉野・蒲野・神浦 |
| 4月18日 | 西村・草壁・安田・橘・岩谷・当浜・福田・吉田 |
| 4月25日 | 西村・草壁・安田・馬木・苗羽・古江・堀越・田浦・坂手 |

※4月4日はお休みします。
申し込み先 健康づくり福祉課国保係 ☎82-7038

「後期高齢者医療制度にご加入の皆さまへ」

●平成25年度後期高齢者医療保険料の納付について

○仮徴収(年金天引き)の対象の方

4月から年金天引きが開始されます。天引き額は、2月天引き分と同額となります。ただし、4月から新たに天引きが開始される方(2月に天引きがされていない方)につきましては、平成23年中の所得を基に仮計算された保険料の1/6相当の額が天引きされます。平成25年度の保険料額が確定後、10月以降の天引き分で残りの保険料額の調整が行われます。

○仮徴収の対象外の方

(普通徴収から開始の方)
平成25年7月に保険料が確定後、7月から納付書または口座振替による納付が開始されます。その後、年金天引きに移行できる方につきましては10月から天引きが開始されます。

※保険料を年金天引きされている方で、口座振替による納付に変更をご希

望の方は、左記担当窓口までお申し出ください。

●振り込め詐欺にご注意ください!

香川県内においても、還付金詐欺の事案が発生しています。

香川県後期高齢者医療広域連合や健康づくり福祉課が、医療費や保険料の還付金があるなどとして、スーパー、コンビニのATM(現金預払機)での操作や、おりかえしの電話を依頼することはありませんので、詐欺被害にあわないよう、気をつけましょう。

問い合わせ先

- (保険料) 税務課
☎8217003
健康づくり福祉課
☎8217038
香川県後期高齢者医療広域連合
☎08718111866



保健医療福祉関係職修学資金

平成25年度修学学生募集

本町では、将来、町立施設や町内の民間施設等で保健医療福祉関係業務に従事しようとする方を対象に修学資金の貸し付けを行っています。

平成23年度から、子育て支援、少子化対策の一環として、保健医療関係職の対象職種を拡充するとともに、新たに福祉関係職を貸付対象としています。

対象者

平成25年4月現在、保健医療福祉関係職をめざす養成機関に在学中で、卒業後、町立施設および町の認めた病院・施設などでその業務に従事しようとする方。（ただし、小豆島町奨学金貸付条例による貸し付けを受けている方は対象外となります。）

対象職種
医師、助産師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学士、視能訓練士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、保健師、

社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、保育士
貸付金額
月額 50,000円（年額 600,000円）

ただし、香川県看護学生修学資金貸付条例などによる貸し付けを受けている場合は半額となります。

返還の免除
養成所等を卒業した後、1年以内に町立施設および町内の民間施設等に就職し、引き続き業務に従事した期間が5年に達したとき、修学資金の返還が免除されます。

申込期間

平成25年度分は4月1日（月）から受け付けします。
※申込期限は設けていませんが、修学資金の貸し付けは、申込書を受け付けた月分からとなりますのでご注意ください。
申し込み用紙は健康づくり福祉課または池田窓口センターに備えています。

問い合わせ先

健康づくり福祉課
☎ 82-7038

学生納付特例制度の申請について

20歳になると、学生の方も国民年金に加入しなければなりません。しかし、学生の皆さんは、収入がない場合が多いため、保険料の納付が困難な場合があります。

国民年金制度では、在学中の保険料を社会人になってから後払いできる「学生納付特例制度」を設けています。

納付特例が一度承認された方については、翌年度以降、在学期間中は毎年ハガキ形式の学生納付特例申請書が日本年金機構より送付されますので、必要事項を記入のうえ返送ください。

初めて学生納付特例を申請される方、学校が変わられた方などは、住民票を登録している市区町村の国民年金担当窓口または年金事務所で申請をしてください。

◆持ってきていただくもの（ハガキ形式以外の方）
学生証または在学証明書、年金手帳、認印

◆承認期間

4月から平成26年3月までです。

国民年金保険料改定のお知らせ

4月～平成26年3月分の国民年金保険料額は月額「15,040円」です。保険料の納付先は、金融機関またはコンビニエンスストアとなっています。また、便利でお得な「口座振替」、「前納制度」もありますので、ぜひご利用ください。

【問い合わせ先】

高松東年金事務所国民年金課 ☎ 087-861-3867
住民課住民年金係 ☎ 82-7005
池田窓口センター ☎ 75-0557

春の全国交通安全運動

期間 4月6日（土）～15日（月）の10日間

運動重点

- 自転車の安全利用推進
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶
- 交差点およびその付近での交通事故防止



元気もりもり健康食！

（小豆島町食生活改善推進協議会）

今年のテーマ ～オリーブオイルを使ったレシピ～



オリーブ風味の卵混ぜごはん

◆栄養価(1人分)

| | |
|-------|---------|
| エネルギー | 380Kcal |
| たんぱく質 | 11.3g |
| 脂質 | 10.3g |
| カルシウム | 55mg |
| 食塩相当量 | 1.6g |

◆材 料(4人分)

| | | | |
|------------------|------|-------|------|
| ごはん | 600g | 昆布の佃煮 | 20g |
| オリーブ油(エキストラバージン) | 小さじ4 | 粉チーズ | 小さじ4 |
| しょうゆ | 小さじ4 | 半熟卵 | 4個 |
| 細ねぎ (小口切り) | 大さじ1 | | |

◆作り方

- ① 卵は沸騰湯で5分茹でて半熟卵にしておく
- ② 温かいご飯に、オリーブ油、しょうゆ、粉チーズ、佃煮を混ぜる
- ③ 卵を半分切ったのせ、細ねぎを散らす

65歳以上の方へ 自分自身の健康づくりのため 基本チェックリストを必ず受けましょう！

小豆島町では、介護予防の取り組みとして、「基本チェックリスト」で心身の状態を確認し、「心身の機能の衰えがある」と判定された方を対象に、介護予防教室を実施しています。

＊基本チェックリストとは
自分の生活や健康状態をチェックし、介護予防に役立てていただくものです。足腰の筋肉、食生活、口腔、認知症などに関する25項目の質問に「はい」「いいえ」で答えることで、心身の状態が確認できます。

＊基本チェックリストの対象となる方

要介護認定を受けていない、65歳以上の方が対象です。

今年度より、4月1日～30日まで、各地区公民館に回収箱を設置しています。公民館でも回収にご協力をお願いします。

＊公民館への持参が困難な方は、同封の返信用封筒での郵送による返送も可能です。

問い合わせ先

小豆島町地域包括支援センター
☎82-7006

軽自動車税の減免について

身体に障がいのある方は、5月24日(金)までに申請することにより、軽自動車税の減免を受けられる場合があります。(障がいの程度によっては対象外となる場合があります)

減免は、普通自動車税(県税)を含め、1人1台です。

なお、前年に減免を受けた方には、郵送にて申請書を送付します。

必要書類

身体障害者手帳、運転する方の運転免許証、申請者の認印、車検証

問い合わせ先

税務課 ☎82-7003
池田窓口センター税務・出納係
☎75-0555

「ふれあい看護体験」 参加者募集

5月12日は、ナイチンゲールの聖誕祭「看護の日」です。

内海病院では、看護への理解を深め、関心をもっていただくために、平成6年から「ふれあい看護体験」を実施しています。

医療・看護・介護に興味をおもちの方、白衣に着替え、医療の現場の見学や、食事・入浴介助など患者さんとのふれあいを通じて、看護の喜びや命の尊さを感じてみませんか？



日時 5月18日(土)

9時～15時30分

募集人員 5名程度

申込締め切り

4月19日(金)

申し込み方法 電話、FAX

Xで住所・氏名・年齢・電話番号をお知らせください。

申し込み先 内海病院
看護部 坂本幹枝

☎82-2121
☎82-2125

小豆島町栄養教室受講生募集

「健康づくり」について一緒に学んでみませんか？

健康づくりの基本は「栄養・運動・休養」のバランスです。「小豆島町栄養教室」では食生活改善を中心とした健康づくりの基礎知識を学習します。なお、受講後は食生活改善推進協議会の会員となり、町民の健康づくりの一環として食生活改善事業の推進にあたります。

募集人員 16名

期間および回数 6月～平成26年2月(9回)

場所 池田保健センター他

内容 講話・グループ学習・調理実習・運動等

講師 管理栄養士・保健師・運動指導士他

申し込み期限

4月26日(金)

申し込み・問い合わせ先

健康づくり福祉課

☎82-7038

高齢者肺炎球菌予防接種の費用の一部を助成します

このワクチンは高齢者の肺炎の発症や重症化を予防する効果があり、1回の接種で5年間は有効とされています。接種は本人が希望する場合には本人が接種義務はありません。

●対象者 小豆島町民で、接種日において満75歳以上の方。(ただし、過去5年以内に高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けていない方)対象者一人に対して一度限りの助成。

●助成期間 4月1日～平成26年3月31日

●助成額 3,000円(3,000円を超える接種費用は自己負担です。)

●助成方法 医療機関に予約し、接種してください。接種費用から3,000円を引いた額をお支払いください。

※接種費用は医療機関で異なりますので、各医療機関にお問い合わせください。

島外で接種を希望する方は、健康づくり福祉課(☎82-7038)までお問い合わせください。

2013.4



世

総合格闘技「修斗」児玉京大さんにトランクス贈呈
世界のトップをめざして

3月24日に高松市で行われる総合格闘技「修斗」のプロデビュー戦に挑む児玉京大さん（橘出身）に、3月1日、塩田町長と秋長町会議長、後援会長の浜崎文男さんから小豆島のかたちとオリーブの実をあしらったトランクスが贈られました。

トランクスのデザインは、児玉さんご自身がデザインしたもので、児玉さんは、「応援してくれる皆さんの期待に応えられるように練習に励み、世界をめざせるように頑張りたい。」と抱負を述べていました。



全

第21回小豆島町オリーブ杯ゲートボール全国大会
国の強豪が集って

小豆島ふるさと村で、3月2、3日の2日間、全国から48チームが参加して第21回小豆島町オリーブ杯ゲートボール全国大会が開催されました。

快晴の中行われた大会には、10代の若い選手から年輩の選手まで幅広い年齢層の約260名の皆さんが参加しており、真剣な表情で競技する選手の皆さんの熱気で会場は大きな盛り上がりを見せていました。

大会結果は、岐阜県の西濃1チームの皆さんが見事優勝を果たしました。

島

天狗岩丁場案内モニュメント完成除幕式開催
の新しい観光スポットに

3月15日、岩谷の天狗岩丁場新遊歩道登り口で、新しく完成した天狗岩丁場の案内モニュメントの除幕式が行われました。

式典には、地元の皆さんや大坂城築城から明治まで石切丁場を守り続けた「番屋七兵衛」の12代目当主石本豊次郎さんが参加しました。

参加者の皆さんは、除幕式の後、実際に天狗岩丁場を見学、大坂城築城からの400年の歴史を感じながら散策を楽しんでいました。



大

小豆島子どもセンター園児によるホタル放流
きくなって、ピカピカ光ってね

3月18日、殿川ダム上流で、小豆島子どもセンターの園児たちによるホタルの幼虫の放流が行われました。

参加した園児たちは、巨和彦さん(中山)からホタルについて説明を受けた後、ホタルの幼虫を「大きくなって、ピカピカ光ってね」と声をかけながら放流しました。

放流されたホタルは、5月下旬頃から飛び始め、6月20日頃まで見ることができます。

また、殿川ダム上流では、スイセンの花が咲き始めており、4月初めに見頃を迎えます。





町営住宅入居者募集

募集団地

西村団地406号室

募集戸数 1戸

募集期間 4月2日(火) ~ 10日(水)

家賃 入居世帯の所得により決定します。

申し込みの資格

- ①小豆島町内に住所または勤務場所がある方で現に住宅に困っている事が明らかかな方
- ②同居親族または同居しようとする親族がある方(60歳以上の方・身体に障害のある方【手帳1〜4級】などは、1人でも申し込みができます。)
- ③申込者と同居者全員の所得を合算し、控除額を差し引いた月収額が収入基準【月収15万8千円以下】に該当している方

下)に該当している方

- ④町税および町が定めている使用料、手数料等を滞納していない方
- ⑤家賃・共益費・自治会費および敷金(3か月分)を納められる方
- ⑥申込者と同等以上の収入があり、町内居住者である連帯保証人をたてられる方(2名で、町営住宅に入居していない方)
- ⑦申込者および同居しようとする方が暴力団員でないこと

入居者の決定

公開抽選により行います。詳しいことは、建設課管理係(☎8217009)までお問い合わせください。

財小豆島オーリーブ公園
正職員募集

小豆島町健康生きがい中核施設サン・オーリーブに勤務する職員の募集を行います。

募集人員 1名程度

応募資格 乙種第4類危険物取扱者資格(2級ボイラー) 技士免許取得者が望ましい。

物取扱者資格(2級ボイラー) 技士免許取得者が望ましい。

満5歳未満(長期勤続によるキャリア形成を図るため)

- ・普通自動車免許
- ・パソコンの基本操作
- ・機械設備保守業務等経験者を優先する。

業務内容 施設全般の保守業務、利用者の送迎等

休日等 休日は1週間に2日とし、1週間平均勤務時間が40時間の変則勤務とする。

・採用期間あり
試験 面接および作文試験(試験日は本人に通知します。)

採用時期 平成25年5月1日(予定) から

応募方法 履歴書(写真必須) および応募資格に規定する免許等の写しを添付し、サン・オーリーブ内事務所へ提出してください。(郵送可)

応募締め切り 4月19日(金) 17時まで

問い合わせ先 (財)小豆島オーリーブ公園

☎8212200

優良運転者表彰が自己申告になりました!
(10年・20年・30年)

安全協会会員の皆さんで受賞を希望される方は、土庄交通安全協会事務局に申告用紙があります。必要事項を記入のうえ、運転記録証明書手数料として630円を添えてお申し込みください。

表彰該当者

運転免許取得後10年以上、20年以上、30年以上経過して無事故・無違反の模範運転手

申請期日

10年以上……毎年4月30日 受賞は6月頃予定
20・30年以上
……毎年7月31日 受賞は10月頃予定

問い合わせ先 内海交通安全協会 ☎82-0329
土庄交通安全協会 ☎64-9110

よさこい小豆島、風神、
男女メンバー募集

私たちといっしょに踊りませんか。

対象者 保育園児以上

練習 (火・水・金の週3回) 18時30分〜20時30分

月会費 学生1,000円 一般3,000円、入会費1,000円 Tシャツ有

※同時に第60回高知よさこい祭り参加メンバーを募集しています。

問い合わせ先 太田秀二

☎0901497917435

和太鼓小豆島、檜櫓、
メンバー募集

対象者 年齢、性別、問いません(小さいお子さんの場合は保護者同伴)

練習 (火・水・金の週3回) 20時〜21時30分

月会費 3,000円(ご家族で参加の場合割引有) ※入会金無料

※同時に2013オリーブマラソン応援参加メンバーを募集しています。

問い合わせ先 チームリーダー 中井丈二

☎0901100511652

平成25年度JICA ボランティア募集

募集区分

- ① 青年海外協力隊
 - ② シニア海外ボランティア
- 日時 4月7日(日) 14時～
- 場所 協町劇場(オデオン座)
- 内容 シネマ& 駿談& 説明会 ※おじいさんと草原の小学校無料上映
- 日時 4月14日(日) 14時～
- 場所 アステイトくしま
- 内容 シネマ& 駿談& 説明会 ※幸せの経済学無料上映。

対象者 ① 満20～39歳
② 満40～69歳(5月13日現在) ※日本国籍を持つ人

募集期間 4月1日(月)～5月13日(月)

応募書類配布場所 JICA

A 四国、県国際交流協会
問い合わせ先 JICA 四国
☎ 087-821-8824



伝えるチカラを磨く! ビジネススマナー研修

日時 4月18日(木)
18時30分～20時

場所 オーキドホテル
講師 四国生産性本部 委嘱講師、人材育成コンサルタント
(株) BRILLIANT YOU
代表取締役 多田祐子氏
服装 スーツ
備考 当日は名刺を持参ください。

問い合わせ先 社団法人小豆島青年会議所
☎ 75-1504
担当 島 詳しくは
<http://shodoshima-jc.com/> まで



年金相談のお知らせ

公的年金について、日本年金機構から委託された社会保険労務士が無料で相談をお受けします。年金について年金事務所と同様のご相談ができますので、お気軽にお越しください。

日時 ① 4月12日(金) 10時～15時
② 4月17日(水) 10時～15時

場所 ① 内海庁舎 研修室

② 池田庁舎 第3会議室
※年金手帳・年金証書・振込通知書などの他、運転免許証などご本人であることの確認できる物をご持参ください。代理の方が来られる際には、委任状および依頼を受けたご本人であることが確認できる物が必要となります。

問い合わせ先 住民課 住民年金係
☎ 82-7005

不動産鑑定無料相談会

香川県不動産鑑定士協会の主催により、土地・建物等の不動産の価格や土地取引に関する相談に無料で応じる「不動産鑑定無料相談会」が、次のとおり開催されます。

相談を希望する方は直接会場までお越しください。

日時 4月5日(金) 10時～16時

場所 ① 高松会場：香川県庁 東館1階ロビー
② 丸亀会場：丸亀市役所 1階南会議室

問い合わせ先 香川県不動産鑑定士協会
☎ 087-822-8785

振り込め詐欺(還付金等詐欺) 事案に対する注意喚起

県下で還付金等詐欺が連続発生していますが、2月12日には、小豆島においても同様の事案が発生しました。

手口については、社会保険事務所職員を語る男が、電話にて、払いすぎた医療費を返還するので、通帳を持参して銀行のATMへ行くように指示するといったものです。

幸いにも被害者の方が知人に相談したことで振り込め詐欺だと気づき、被害に遭わずに済みましたが、今後も同種事案の発生が予想されますので、被害に遭わないよう十分に気をつけてください。

問い合わせ先 小豆警察署生活安全・刑事課
☎ 82-0110

平成25年度出張登録の日程について

香川運輸支局では、小豆島に出張して自動車の登録を行うっており、平成25年度も次の日程で実施します。

実施する業務

登録自動車および小型二輪(251cc以上)の車両で、名義変更・住所変更・番号変更・新規登録・廃車等の業務

申請の予約

出張登録を申請する方は、実施日の2営業日(土日祝日を除く)前の午前中までに電話で予約してください。

実施場所 小豆島出張検査

場 土庄町甲5878-2
(株)安全モータース
☎ 62-2210

実施日 4月17日(水)、5月8日(水)、6月12日(水)、7月10日(水)、8月21日(水)、9月11日(水)、10月9日(水)、11月13日(水)、12月11日(水)

平成26年 1月8日(水)、2月12日(水)、3月12日(水)

申請書受付時間

10時30分～11時30分、13時～13時20分

問い合わせ先 香川運輸支局登録部門ヘルプデスク
☎ 050-5540-2075

4月 暮らしのカレンダー

| | | | |
|-----|---|---|------------------------------|
| 1日 | 月 | | |
| 2日 | 火 | 特設人権相談所 10:00~15:00 | 内海福祉会館 |
| 3日 | 水 | | |
| 4日 | 木 | | |
| 5日 | 金 | | |
| 6日 | 土 | | |
| 7日 | 日 | | |
| 8日 | 月 | | |
| 9日 | 火 | いこいの場 10:00~12:30 心配ごと相談所 13:30~15:30 | 内海福祉会館 内海庁舎1階 第1相談室 |
| 10日 | 水 | | |
| 11日 | 木 | | |
| 12日 | 金 | | |
| 13日 | 土 | | |
| 14日 | 日 | | |
| 15日 | 月 | | |
| 16日 | 火 | | |
| 17日 | 水 | 行政相談 13:30~16:00 | 内海庁舎1階 第1相談室 |
| 18日 | 木 | | |
| 19日 | 金 | | |
| 20日 | 土 | | |
| 21日 | 日 | | |
| 22日 | 月 | | |
| 23日 | 火 | 行政相談 13:30~16:00 心配ごと相談所 13:30~15:30 | 池田保健センター1階 保健指導室 池田保健センター |
| 24日 | 水 | | |
| 25日 | 木 | | |
| 26日 | 金 | すくすくルーム 10:00~10:15受付 (対象児:平成25年2月生まれ) ベビーサロン 10:00~12:00 | イマージュセンター |
| 27日 | 土 | | |
| 28日 | 日 | | |
| 29日 | 月 | | |
| 30日 | 火 | | |

「瀬戸内しまラジ!」放送中

「瀬戸内しまラジ!」では、瀬戸内海と小豆島をはじめとした瀬戸内の島々の魅力をお伝えしています。4月は、瀬戸内国際芸術祭2013、寒霞渓ロープウェイ開通50周年、番の郷まつり、肥土山農村歌舞伎などの話題をお届けする予定です。

FM香川 周波数78.6MHz 毎週火曜日 8:25~8:30

「瀬戸内しまラジ!」の番組公式ブログ (<http://shimamradio.seesaa.net/>) では、小豆島のホットなニュースをお届けしていますので、ぜひご一読ください。

毎月19日は「食育の日」朝ごはん大好き 野菜大好き 小豆っ子

町内の

事故・火災・救急

【2月】



発生状況

| 区分 | 件数 | 1月からの計 | 昨年同期 |
|-----|----|--------|------|
| 発生 | 4 | 10 | 10 |
| 負傷者 | 5 | 12 | 10 |
| 死亡者 | 0 | 0 | 0 |
| 火災 | 0 | 1 | 2 |
| 救急 | 73 | 115 | 120 |

みなさんからの **寄付** (敬称略)

内海病院整備基金へ

▷ 門口 秀子 (土庄町)

星城小学校へ

- ▷ 昭和40年度草壁小学校卒業生 一同
- ▷ 昭和40年度西村小学校卒業生 一同
- ▷ 昭和59年度星城小学校卒業生 一同

苗羽小学校へ

- ▷ 昭和59年度苗羽小学校卒業生 一同
- ▷ 昭和40年度苗羽・田浦小学校卒業還暦一同



リサイクル情報

(2・3月受付分)

【譲ります】

WindowsXP、word2002等解説本 無償
電気サウナ 無償
麻雀セット 無償

【求めます】

子ども用自転車(幼稚園) 男子用 無償
チャイルドシート 無償
小豆島高校男子制服 上下 185cm 無償
FAX付き電話 無償

役場では品物は預かっておりません。ご了承ください。

リサイクル用品の情報をお待ちしています。環境衛生課 (☎ 82 - 7008)



お買い物は
地元商店を
使いましょう

小豆島を元気に！ 私の提言

No.25

『食の原点 小豆島』

萩原大輔さん
現住所 西村

奈良ユースホステルで働いていた私と小豆島の縁は5年前。小豆島オリブユースホステルの再生を担当するところから始まります。

再生という響きは格好良いのですが、年代物の建物は修繕なしに再オープン出来ず、作業着にゴム長靴の毎日。予約簿も白紙状態でしたから島に来た時点で既に崖っぷちでした。

そんな日々の救いは目の前に広がる海。どんなにささくれだった心もこの海を見ると静まりました。

宿は5年の間にお客さんに応じて姿を変え何だか不思議な空間になりました。

世界中からリーズナブルなヴァカンスを楽しみ(毎年イギリスから来てくれるご家族も!)一人旅や家族

連れ。夏は学生達がバーベキュー。音楽合宿や大学の研究発表・社員研修の場として活用頂く日もあります。

たくさんのお客さんに支えられて描いていた宿の姿が形になりつつあります。

さてそんな私の提言はお客さんから特に良かったと言った頂き、私自身も大好きな島の食についてです。

小豆島は400年以上続く「食の島」です。観光業より食産業に携わる人の方が圧倒的に多い。ゆえに島の経済活性で重点を置くべきは屋台骨たる食産業だと私は思います。

ですから小豆島が今後、より活気溢れる島になるために「食の島小豆島」をこれ迄以上にアピールすることだと思えます。芸術祭



は絶好の機会。以前、海外の老舗ガイドブックの記者をガイドしたことがあるのですが、伝統を今に伝える現場、味共に太鼓判を押して頂きました。きつとアートを目当てで島にお越しになる方にも満足して頂けると思えます。

最後に私事ですが、関係者の皆様、特にご近所の皆さん。いつも騒がしくご迷惑をおかけしてばかりで申し訳ありません。この5年やってこれたのは、いつも暖かく、時に厳しく接して頂いたおかげです。今後ともよろしくお願致します。

人の動き

2月11日から3月10日まで

【おめでた】

◎出生 (5人)

- 赤ちゃん 性別 保護者 地区
- 三木 稷太郎 男 貴博 池田
- 渋谷 朱里 女 信人 草壁本町
- 古郷 凜 女 真吾 安田
- 宮谷 琉空 男 健太郎 馬木
- 辰巳 志麻 女 雅敏 苗羽

【ご結婚】

◎婚姻 (2組)

- 氏名 夫 妻 地区
- 大森 亮昌・夏美 池田
- 佐伯 智也・唯 蒲生

【おくやみ】

◎死亡 (18人)

- 氏名 歳 世帯主 地区
- 中本 ハマコ 95 本人 池田
- 平井 奈津代 57 俊秀
- 森 政夫 81 フイ子 蒲生
- 藤本 昌平 81 洋子
- 佐伯 ツネコ 87 本人 中山
- 木下 弓子 79 本人 室生
- 三木 清 87 里子 二面
- 山本 規 85 淳雄 蒲野
- 岡 建男 69 本人 西村

町の人口



- 森上 徹 57 明美 神懸通
- 中田 壽 83 恵子 草壁本町
- 長谷川 豊 92 恭之 木庄
- 高橋 三七雄 92 本人 安田
- 中村 ソル子 86 信夫 橋
- 廣芽 正弘 93 カズエ
- 上嶋 貢 77 本人
- 山本 チヨ子 99 孝雄 苗羽
- 岡田 ミチエ 91 歳 春

防災行政無線の誤報について
3月8日午後2時ごろ大地震に関する警報が誤って一斉放送されました。放送機器の整備中の誤操作によるもので、町民の皆さまに不安を抱かせました事を、あらためてお詫びいたします。



この広報紙は再生紙を使用しています。



オリーブバスは、みんなのバスです。路線バスを利用しましょう。



小豆島の未来のために、 新しい島づくりの更なる前進



平成25年第1回小豆島町議会定例会の開催にあたり、平成25年度予算案並びに関連諸議案のご審議をお願いするに際しまして、町政運営に対する所信を申し述べ、議員各位並びに町民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

〔瀬戸内国際芸術祭の意味〕

3月20日から瀬戸内国際芸術祭2013が開催されます。

今度の芸術祭は、海の復権、小豆島の復権にとって、大きな意義を持つと思います。

ひとつの芸術祭によって、海が復権し、小豆島が復権するほど、私たちが抱える

課題は生易しいものではありませんが、私たちは、今度の芸術祭をひとつの機会に、海の復権、小豆島の復権に向けた一歩を踏み出せると思っています。

小豆島は、古い時代から美しい自然に恵まれ、海の交通の要衝にあつたことから、素晴らしい文化、伝統、産業、人々の絆を築き、伝承してきました。

小豆島に美しい日本の国が凝縮されています。その島に、島八十八ヶ所霊場ができ、400年の歴史を持つ醤油産業が育ち、名作「二十四の瞳」が生まれたのです。映画「八日目の蟬」は、小豆島を、人々と、自然と、神々が、同じ地平で暮ら

瀬戸内国際芸術祭2013 Setouchi Triennale 2013

春：3月20日(水)～4月21日(日)：33日間
夏：7月20日(土)～9月1日(日)：44日間
秋：10月5日(土)～11月4日(月)：31日間

小豆島 豊島

TEL:0479(0)85-1775 FAX:0479(0)85-1801 小豆島 豊島 アートガイド
E-mail: swn24@setouchi-art.jp http://www.setouchi-art.jp/artguide

瀬戸内国際芸術祭2013



木下恵介監督、高峰秀子主演
映画「二十四の瞳」©松竹

している島として描きまされた。平和と健康の象徴であるオリーブ。誰もが、小豆島といえばオリーブ、オリーブといえは小豆島を思い浮かべてくれます。

今度の芸術祭は、この小豆島の素晴らしき、魅力のアートイストとともに、再発見し、磨き、世界に向けて発信する機会です。私たちは、先達から引き継いだ素晴らしいもの、大切なものを守り、磨くとともに、新しい何かを加え、次世代に引き継いでいかねばなりません。芸術祭はその一歩を踏み出す機会です。島民全員が、おもてなしでも何でもいいですから、海の復権、小豆島の復権を目指す

芸術祭に参加したいものです。

〔小豆島の復権に必要なこと〕

海の復権、小豆島の復権のために必要なことは何でしょうか。何よりも、人口減少と急速に進む少子高齢化を少しでも和らげ、また、人口減少と急速な少子高齢化に相応しい社会のシステムをつくりあげる必要があります。

小豆島の人口減少と急速な少子高齢化は、日本全体の動きを先取りするものです。小豆島での、この課題の解決に向けた取り組みは、日本全体の課題克服のモデルとなるものです。

答えは簡単です。小豆島で、子どもたちが健やかに育つ子育て・子育ての環境をつくり、若者たちや現役層が未来の希望を持って、やりがいのある仕事をでき、高齢者が健やかな高齢期を過ごせる政策を、地道に、大胆に実行することです。痛みを伴う政策も必要になります。小豆島が未来に向けて元気になっていくために必要な政策は、未来の

世代のために避けてはならず、やり通さなければなりません。

小豆島の力だけでは解決できない課題もあります。

例えば交通政策のあり方は、国の政策のあり方が本質的に重要です。航路がこれからも元気であることは、小豆島の復権には不可欠です。一昨年、坂手と神戸を結ぶ定期フェリー航路の復活は、間違いなく小豆島を元気にしようとしています。

陸と海の交通の整合性のとれた国の交通政策が、小豆島の発展のために不可欠です。海の道路である航路を重視する国の交通政策の



坂手と神戸を結ぶジャンボフェリー

実現を、関係者と力をあわせて求めていこうと思えます。

（予算案の基本的考え方）

25年度予算案は、私が町長として取り組む3度目の予算案です。25年度予算案は、小豆島が元気になることを目指して編成しました。四つの基本的な考え方に基づいています。

第一に、ここ数年が小豆島を元気にする最後の機会と捉え、健康づくり、子育て・人づくり、産業づくりを中心に積極型の予算案を編成するとともに、病院経営などの課題に大胆に取り組むことにしています。

第二に、芸術祭の成功に向けて、全力で取り組み、小豆島の大切なものを守り、磨き、発信する新しい物語をつくりたいと考えています。

第三に、将来世代の財政負担に配慮し、基礎的財政収支（プライマリーバランス）は黒字化を堅持し、財政の健全化に留意しつつ、今ある基金を有効活用することとしています。

第四に、日本経済再生に向けた国の経済対策について

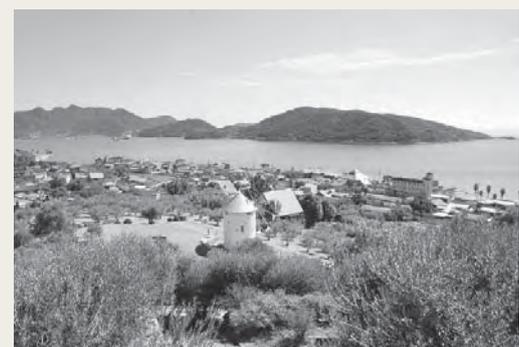
では、平成24年度の補正予算で対応することとしています。

平成25年度の一般会計当初予算案の総額は80億円です。対前年度比1億1千万円の減、1.4%の減です。前年度に比べ減になっているのは、24年度予算に光ファイバーの整備など大きな事業予算があったためです。25年度予算案は、24年度予算を除けば、最大規模の予算案です。

積極型の予算案ですが、財政規律を維持しています。25年度の新規発行の町債は、7億7千3百万円であり、24年度の10億7千3百万円に比べ減少します。

25年度の町債償還額は7億9千百万円、25年度末の町債残高見込みは76億1千2百万円であり、24年度末町債残高76億3千万円に比べ、1千8百万円減少し、基礎的財政収支（プライマリーバランス）の黒字を堅持しています。

基金のうち5億2千8百万円を有効活用し、小豆島を元気にする事業の財源に充当します。25年度末の基金残高の見



元気な小豆島をめざして

込みは、55億3千9百万円で、24年度末57億2千2百万円に比べ、減少しますが、基金は、将来の町債償還や必要な事業の財源として、今後とも必要な額を確保していきます。

（推進体制）

24年度に条例を改正し、役場の組織改正をしました。町村では例のない部制をしき、分野ごとに総合的な視点で政策遂行ができるようにしました。

25年度は、条例の改正は行いませんが、現行の部課を前提として、大きなテーマに役場全体で総力で取り組み、私を本部長とし、関係部課長などからなる、

3つの本部を設置して、本格的に取り組むことにしています。

3つのテーマとは、健康づくり、子育て・人づくり、産業づくりです。

この3つのテーマを強力に推進することで、小豆島を元気にしたいと考えています。

まず、健康づくり本部です。人口減少と少子高齢化の課題を克服する鍵は、健康づくりにあります。健康は、一人ひとりの生活をいきいきとするだけでなく、医療費や介護費を減らすことができます。若者の負担を軽減し、軽減された財源を、教育、福祉など地域おこしに活かすことができます。

健康づくりの重要性や対策は、十分に理解されているはずなのに、市町村のトップがリーダーシップをとって徹底して実践されている例は必ずしも多くありません。

私は、この小豆島町で、その実践を徹底して行いたいと考えています。健康増進、介護予防、食育、医療費の適正化などに地域をあげて徹底的に取り組もうと

考えています。

医療については、28年度をめざして新しい病院をスタートしたいと考えていますが、それまでの間、内海病院の経営を改善することも急務です。健康福祉部長をリーダーとする病院経営改革チームにより、早急に病院経営改善計画を策定し、病院経営の改善を図り、新しい病院が本来の任務を果たせる基盤をつくっていきます。

2つ目は、子育て・人づくり本部です。小豆島の未来を担うのは子どもたちです。

たくさんの子どもたちが生まれ、すこやかに、たくましく育ってほしいと思います。子育て・人づくりの行政には、教育と福祉の政策の壁があります。この壁をこえて、子育て・子育て支援、保育所・幼稚園から高校まで一貫した教育を確立し、若者たちが、定住し、子育てができる環境を整備したいと考えています。

3つ目は、産業づくり本部です。小豆島が元気になるには、若者などが力を発

揮し、やりがいのある働く場の確保が不可欠です。小豆島には、醤油、佃煮、素麺、オリーブ、観光など、さまざまな産業が息づいています。農業や漁業など大切な産業です。アートやデザイン、IT、医療・福祉・教育などの新しい産業はこれからのポイントです。

若者たちが意欲を持って働ける場をつくるため、航路振興、IT基盤整備、新しい産業おこし支援などを行い、小豆島の魅力を最大限に活かしたいと考えています。小豆島の総力を結集して実行したいと考えています。

(健康づくり)

健康づくりをどう進めていくか、具体的に申し上げます。



各地で行われているオリーブ料理教室



小豆島高校オリーブ料理フェスティバル

ます。

24年度から、オリーブを用いた健康長寿の島づくりを始めています。各地で開かれるオリーブ料理教室は、いろいろな世代の皆さんが参加してくれ、地域が賑やかになるうとしています。幼稚園・保育所でも、小・中学校でも、オリーブ料理の給食が広がっています。小豆島高校の生徒は、オリーブ料理フェスティバルを開催するなど、地域をまきこんだ取り組みをしています。

オリーブを用いた健康長寿の島づくりは、一人ひとりの健康を実現するだけでなく、医療費や介護費を抑制し、小豆島のオリーブ

ランドを高め、地域の連帯、絆を強めていくでしょう。

25年度は、これらの事業を継続・拡充するとともに、小豆島のこれらのオリーブを活用した、楽しめる、住民参加型の食育プログラムを作ってみようと考えています。小豆島のオリーブの食育を一層アピールし、島民の皆さんの取り組みをさらに広げるようにしたいと考えています。

新しく導入された光ファイバーを活用して、楽しみながら健康づくりに取り組めるオリーブヘルスケアシステムを24年度に草壁、福田地区で導入しました。

このシステムは、万歩計などの健康データを公民



オリーブヘルスケアシステムを活用した健康づくり

館にあるコンピュータに登録し、地域包括支援センターの保健師とテレビ電話で健康相談するものです。25年度は、池田、二生、安田、苗羽の4箇所を整備することとしています。

25年度は、公民館だけでなく、家庭からテレビ電話で健康相談できるシステムをモデル的に実施します。町内在住高齢者と島外家庭を結ぶケースも実験的に取り組んでみようと考えています。

そのほか、オリーブを活かした健康づくり・介護予防のリーダーを養成するオリーブ健康塾、自主的に健康づくり・介護予防活動に取り組む団体を支援する事業を新たに始めることにしています。

病気の予防、早期発見、早期治療については、新たに75歳以上の高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチン接種費用の一部助成を行うこととしています。

(福祉の推進)

福祉は、介護保険法に基づく基盤的なサービスなどが重要であることはもちろ



各地で行われている福祉活動

んですが、地域で助け合い、支え合う、地域ぐるみの福祉が大切だと考えています。共助と言われるものです。人口が減少し、急速に少子高齢化が進み、経済のパイの拡大が難しくなった今、公助である国の制度の福祉の拡充で、問題を解決することは困難なだけでなく、適切ではないと私は考えています。

現役世代の負担で高齢者への福祉サービスを国の社会保障制度として拡充していくことは、人口が減少し、急速に少子高齢化が進み、経済のパイが拡大することが困難になった社会では、限界があります。もちろん国の社会保障制

度の持続可能性を高めることは重要ですが、地域社会ごとの助け合い、支え合い、つまり共助による福祉を充実することが不可欠です。

地域社会の助け合い、支え合いを充実することは、福祉だけでなく、防災、子育て、教育、文化、伝統の継承、環境などすべての分野で重要なことです。

健全な地域社会を取り戻すことこそ、日本全体や小豆島が元気を取り戻すために、最も大切なことだというのが私の基本的な哲学です。

地域ぐるみの福祉を推進するため、これまで福祉のまちづくり事業、協働の行ってきましたが、各地でいろいろな取り組みが始まっており、頼もしく思っています。25年度も引き続きこれらの事業を継続実施しますが、これらの事業から、よりニーズにこたえる地域福祉の活動が生まれていくことを願っています。

高齢者ができるだけ長く地域で暮らしていける環境整備は、本人にとって幸せ



毎朝のラジオ体操など、各地でいろいろな取り組みが行われています

であるだけでなく、医療費や介護費の増大を抑えることで、若者の負担を軽くし、地域の賑わいを守っていくことにつながっています。

しかし、小豆島町の現状は、交通弱者である高齢者にとって、ますます住みづらい町になろうとしています。交通弱者である高齢者の移動手段の確保、買い物支援、外出支援の整備が急務です。

28年度には新しい病院が出来ます。医療水準の向上が期待されますが、新しい病院への移動手段の確保が不可欠です。どこからでも利用可能なデマンドバスなどについての研究調査を進め、結論を得て、具体策を

できるだけ早く実現したいと考えています。

支援が必要な高齢者が集い、健康づくりや入浴サービスを受けられ、また、必要なときに寝泊りもできる、小規模多機能型施設の整備を進めています。24年度に蒲生、蒲野地区で整備されましたが、25年度は福田地区に整備することとしています。最終的には町内6地区での整備を予定しています。

障害者支援については、知的な障害をお持ちの方が、地域で暮らしていけるよう、新たにグループホームを整備したいと考えています。

社会福祉法人「ひまわり



小規模多機能型施設「はまひるがお」

の家」がグループホームの整備の意向を表明しており、候補地の住民の皆さんの協力、参加を得て、地域の人も集えるようなグループホームの整備に向けて、25年度に準備を進めていこうと思います。

軽度・中程度の難聴児に対する補聴器購入の一部助成をはじめます。

あとでも申しあげますが、5歳児検診による発達障害の早期発見に努め、小学校などに特別支援教育補助講師を配置し、障害児の成長をサポートします。

小豆島のバリアフリー化、一歩進めてユニバーサルデザインの普及を目指して、町内公共施設等の調査、点検、診断を行うことにしています。

こどもの医療費について、現在、就学前まで通院、入院医療費の無料化が行われていますが、25年度から入院医療費について中学校終了まで無料化することにしています。

(医療)

医療のあり方は今後の小豆島のあり方に大きくかか

わっています。

何よりも、島である私たちにとっては、命を守ってくれる医療がなくてはなりません。幸い、今は二つの公立病院の存在が一定の医療を提供してくれています。

しかし、このままでは、この二つの病院の存立は難しくなると考えられます。

ひとつは、医師の確保が医療を守るためには、病院をひとつに集約して、医師を集中することが不可欠なことです。

もうひとつは、人口減少が進む小豆島では、ふたつの病院の経営を維持することが難しく、病院の集約が不可欠なことです。



医療の現場

このような観点から、新しい病院づくりが進められています。新しい病院が、島民にとっても、医療スタッフにとっても、魅力あるものになり、小豆島島民の命と健康を守り、水準の高い医療の存在が、小豆島の魅力を高め、小豆島が元気になっていく起爆剤となるように、新病院づくりに全力を傾注します。

新しい病院の開院は、平成28年度の予定です。それまでは内海病院が医療提供の中核です。

新しい病院は、内海病院と土庄中央病院を引き継ぎ発展させるものでもあり、そのためには今から両病院にも、いろいろな課題を克服し、新しい病院をよりよい病院にしていかなければなりません。

そのひとつに内海病院の経営改善があります。内海病院は医師の確保が難しくなっていることから、経営内容が悪化しています。必要な医療を確保するために、町の一般会計からの財政支援は必要ですが、町民負担にも自ずから限度があります。内海病院の経営

状況は、この視点から見ると、速やかに改善を図る状況にあります。早急に経営改善計画をまとめ実行していきたいと考えています。町民の皆さんにも、医療が必要なときは、できるだけ内海病院を利用していただきたいと思います。

医療費のもうひとつの課題は、国民健康保険の赤字です。必要な医療は抑制すべきものではありませんが、無駄な医療はなくすべしです。例えば、ジェネリック医薬品の使用をこころがけるだけで小豆島町で年間数千万円もの医療費を減らすことができます。それだけの財源があれば、子育て



薬剤師の調剤の様子

支援など町を元気にする事業をいろいろ行えます。25年度から国民健康保険などの医療費適正化に本腰を入れていこうと考えています。町民の皆さんの協力を是非お願いしたいと思います。

（子育て・人づくり）

小豆島の未来を担い、開くのは子どもたちです。子どもたちが輝いてこそ、小豆島の未来は明るいものになります。

幸いなことに24年度、小豆島の子どもたちは、スポーツや文化、地域活動において目覚ましい活躍をしてくれました。小豆島高校の野球部、陸上部など、その活躍は枚挙にいとまがありません。この流れをさらに大きな流れにしなければなりません。

子どもたちのライフサイクルにしたがって考えを述べてみます。

まず、できるだけ大勢の子どもたちに生まれてほしい、健やかに育ってほしいと思います。このままでは、小豆島の未来を担い、開く子どもたちの数があまりに少なすぎます。



春、夏大会と活躍の光った小豆島高校野球部

できるだけ大勢の若者たちが小豆島で暮らし、働けるようにすることがまず必要です。そのためには、小豆島が若者たちにとって魅力ある島でなければなりません。小豆島を魅力ある島にするための政策こそ一番の子育ち・人づくりの政策です。芸術祭も、医療、福祉の充実も、産業づくりもみんなこのために必要なことです。

直接的な子育て、子育て支援策もいろいろ始めていきます。

24年度には、一時的に子どもを預かってもらえるサービスを始めたり、ユニークな子育てをしている皆さんの支援なども行いました。大学などに進学する



2年ぶりに全国高校女子駅伝に出場した
小豆島高校陸上部女子駅伝チーム

生徒への月5万円の貸与、島で働くようになったときの返還免除の奨学金も導入しました。これからもいろいろな活動を支援したり、サービスを充実して、小豆島は子育てにやさしい島といわれることを目指したいと思います。

幼稚園・保育所、小学校、中学校、高校と一貫した教育を実現し、ふるさとを愛し、たくましい子どもたちを育てたいと思っています。

私は、ふるさとを愛し、人としての基礎を作る小学校は、地域密着であることが必要であると考えています。その意味で、今ある小学校は守るべきものと考え

ています。

一方、中学校は、勉学にも、スポーツにも、切磋琢磨できる場であることが必要であると考えています。そうした観点から池田中学校と内海中学校を統合し、新しい中学校を26年度からスタートさせたいと考えています。

そのための条例改正案を今議会に提案し、準備の万全を期します。

高等学校については、香川県の方針が表明されました。

この方針に基づき、小豆島の生徒の学力やスポーツ、文化活動を高める、魅力ある高校が1日もはやくできることを願っています。

25年度は、子育て・人づくりで次のような新規施策を行うことにしています。

まず新しい次世代支援の計画、すくすく子育て応援アクションプランを策定します。体育専門の指導主事をおき、幼保・小・中学校での体力強化に取り組みます。

新病院の院内保育所開設に向けた保育士等の確保、養成を行います。医師、臨



子どもたちが健やかに育つように

年齢を克服する鍵は、産業の活性化にあります。どうすれば産業の活性化が図れるでしょうか。

小豆島が長年引き継いできた醤油、佃煮、そうめん、オリーブなどの産業を守り、さらに磨きをかけなければなりません。

それだけでなく、情報基盤などが整備されれば、アート、デザイナー、ITベンチャーなどの新しい分野も小豆島では大いに期待されます。

医療、福祉なども、新しい病院に代表されるように、小豆島の新しい魅力ある産業にすることができま

す。小豆島の優れた自然、文化なども観光資源になるだけでなく、一次産業の再生のモデルとすることがで

ます。大学生等への奨学金について、小豆島町以外の生徒についても、小豆島高校への後輩指導を行うなど高等学校長の推薦者については奨学金貸与の対象とするこ

ととしています。繰り返しになりますが、こどもの医療費について、入院については、中学校卒業まで無料とします。

（産業つくり）

人口減少と急速な少子高



小豆島のオリーブ

きます。中山の棚田がその代表です。

分野ごとに私の考えを述べてみます。

オリーブは小豆島の宝です。オリーブは、平和の象徴であり、健康にもよいことが世界に知られています。オリーブの銀色のはつばや小さな白い花、香りも小豆島にぴったりです。

これからも小豆島オリーブトップワン・プロジェクトを着実に実行していこうと考えています。基本は、オリーブの栽培を丁寧に行うことです。そのためには、気候変動に強い品種の改良、栽培技術を向上させ普及することで、品質のよいオリーブを生産販売するこ



オリーブ産業

とです。

小豆島はオリーブの生産量では外国にかないませんが、品質の高さやオリーブの多様な利用では世界一になれると思います。レベルの高い国際規格づくりなどにも積極的に参加していこうと考えています。

オリーブを用いた健康長寿づくりでも、小豆島は世界で先導的な役割を担えると思っています。オリーブ料理を楽しみ、健康を実現する科学的なデータを世界に提供できたらと思います。戦略を持ち、努力を怠らなければ、小豆島は、世界一のオリーブの島になれると思います。

醤油、佃煮、そうめんな



香川県産業技術センター
発酵食品研究所

地域の振興アドバイザーの活動やかがわ産業支援財団、香川大学、香川短期大学などと連携した研究会、講演会の開催、国内展示会への出展や知的財産活用などに対する助成など、さまざまな活動を行っています。



そうめん産業

どの小豆島の食品産業は長い歴史を持ち、小豆島の生活、文化、伝統を支え続けてきました。

地味ですが、食品産業はこれからも小豆島を下支えしてくれると思います。

食品産業に携わる皆さんの自助努力や創意工夫によるところが、今後の発展の要であることは間違いありませんが、行政が側面からサポートできることもたくさんあります。

醤油の郷での芸術祭の開催やクリエーターとの協働作業なども小豆島の食品産業の発展につながっていくはずですが。

香川県の発酵食品研究所は、これからますます小豆島の食品産業の発展に大きな役割を果たしていくはず

です。杉樽での醤油づくりが小豆島では今も健在です。杉樽での微生物による発酵技術、バイオテクノロジーが世界的な注目を集めはじめています。小豆島に蓄積された微生物や技術が小豆島の新たな可能性を開くかもしれません。

食品産業に限らず、小豆



今も健在な杉樽での醤油づくり

島にはこれからいろいろな産業が生まれる可能性があると思います。芸術祭をきっかけに、例えばアーティストやクリエーターたちが新しいビジネスを切り開いてくれるかもしれませ

今議会に、新しい産業振興のための基盤整備と人材育成を目指して、小豆島町で新しい産業や独創的なビジネスを起業する場合に助成する新しい条例を提案します。

小豆島の地場産業として一次産業の振興を忘れてはなりません。

池田地区や安田古郷地区などでは、今も菊作りや米づくりが盛んに行われています。後継者の確保、特色のある菊産地づくりを応援していきたいと考えています。

有害鳥獣の被害も深刻になっていきます。鳥獣対策について町単独の事業を実施し、大規模緩衝帯、防護柵の設置助成制度の活用や捕獲機材の購入に対する助成制度の新設など、対策を強化します。



中山地区の美しい棚田

中山地区の棚田保全については、24年度、農村工学研究所の協力を得て、地元の方さんとともに、保全策を検討しています。近く、棚田保全の将来ビジョンをまとめたいと考えています。この将来ビジョンに基づいて、地元で棚田保全の協議会を設置し、本格的な保全策に着手していくこととしていきます。

役場でも棚田保全担当のスタッフを任命するとともに、棚田保全管理に取り組み地域おこし協力隊員を募集し、棚田保全に取り組みます。棚田保全活動員を確保し、草刈なども行うこととしていきます。

将来的には、棚田の村（棚

田公社)を設置し、棚田の
全体管理を行ってもらい、
中山地区の美しい棚田での
米づくりを基盤とし、農村
歌舞伎などの伝統が継承さ
れた、世界の至宝とも言う
べき、小豆島の魅力を内外
に発信していきたいと考え
ています。

地元商店の活性化も大事
なことです。なぜなら地元
の商店の存在は、地域の文
化や伝統を守り、地域の安
全や安心を確保するために
なくてはならないからです。

しかし、全国の多くのと
ころで地元商店は苦戦して
います。大型スーパーやコ
ンビニなどに品揃えや価格
でかなわないからです。

商店活性化のため、商店
の皆さんにも努力をしてい
ただくことが必要ですが、
町民としてできるだけ地元
商店を利用するようところ
がけてほしいと思います。

商店がなくなってしまう
のは私たち自身ですし、地
元商店の利用は地元経済の
パイの拡大につながってい
るからです。

地元商店による移動販
売、宅配業務の検討、なか
よし商品券の活用策、広報

活動の充実などやれること
はなんでも行っていこうと
思います。

(その他)

南海トラフの巨大地震は
いつか必ず起きると言われ
ています。ありとあらゆる
準備をし、防災、減災に努
めたいと思います。

池田保健センター2階に
防災本部を整備するととも
に、ハザードマップの整備、
IP告知システムの導入、
急傾斜地崩壊防止対策、蒲
野大池の地震予防などを行
うことにしています。

また昭和49年、51年災害
の記録誌を発刊し、災害を
忘れず、災害の経験、体験
から学びたいと思います。



防災訓練の様子

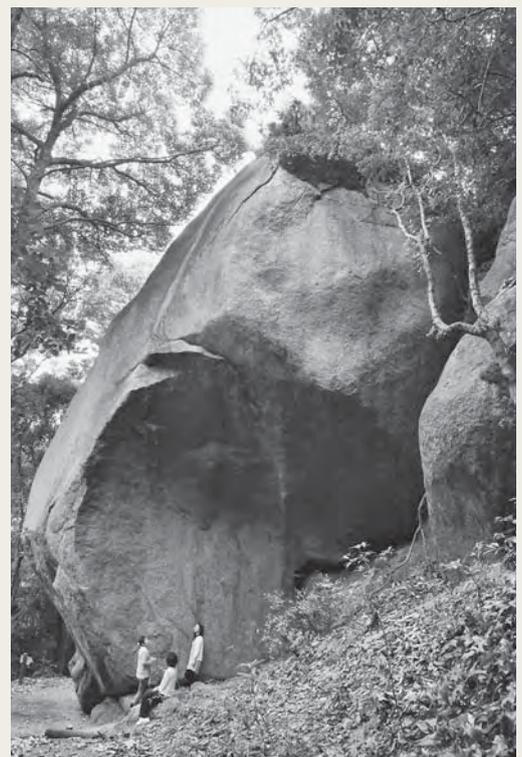
そのほかの小豆島の課題
についても、25年度予算案
に必要な事業を盛り込んで
おり、町民の皆さんとともに
、全力で努力していくつ
もりです。

(魅力づくり)

25年度予算案に関連して
所信を申しあげてきました
が、小豆島が元気になるた
めには、島民自らが自分た
ちの島の魅力に気づき、磨
き、発信することが必要で
す。自分たちの力を信じ、
小豆島を元気にするため、
立ち上がりましょう。

小豆島に魅力を感じて小
豆島に移住したいという若
者が増えていきます。嬉しい
ことです。彼らは、小豆島
に、未来につながる何かを
感じてくれています。彼ら
の意欲と情熱に学び、とも
に小豆島を元気にする営み
を続けましょう。

小豆島を元気にする、い
ろいろな新しい試みが始
まっています。そのひとつ
に、小豆島をはじめ瀬戸内
海の島々の石切り丁場から
巨大な石がどのように切り
出され、海を渡り、大坂城
の石垣として築かれたの



岩谷石切丁場跡の大天狗岩

か、その石の技術と文化を、
世界遺産としての登録に向
けた試みがあります。決し
て容易なことではありません
が、瀬戸内海文化圏を世
界にアピールする試みです。

瀬戸内国際芸術祭は、海
の復権や島々に住む人々
の笑顔を取り戻すことを目
指すものです。小豆島が、
瀬戸内海の島々をひっぱりつ
つて、海の復権や島々に住む
人々の笑顔を実現したいと
思います。

芸術祭はもちろん、離島
振興法の論議も、日本の課
題を克服し、新しい時代の
価値観を小豆島でつくりあ
げていくという、前向きな
ものにしていきたいと思い

ます。

人口減少と急速に進む少
子高齢化という、全国的な
課題を克服し、何世代にも
わたり継承された素晴らしい
自然、文化、伝統、産業、
地域の絆などを守り、磨き、
新しい時代の価値観をつく
りあげる営みをこの小豆島
から始めたいと思います。

以上、平成25年度におけ
る町政運営の基本方針と小
豆島を元気にする予算案に
ついて、ご説明申し上げます。

議員各位並びに町民の皆
さまのご理解とご協力を重
ねてお願い申し上げます。所信
表明とします。